

第103回外務省在外公館派遣員試験／オンライン説明会

# 第三部 質疑応答



一般社団法人国際交流サービス協会

## 質問 1

年齢制限はありますか？

## 回答 1

年齢制限はありません

試験毎の合格者の平均年齢 23.8 ~ 26.5歳

20代85%、30代10%

ごく少数ですが、40代、50代、60代の合格者もいる

### (補足) 合格者の構成

男女比率 男性29% 女性71%

社会人経験者 30% 新卒者40% 現役学生30%

海外経験（留学、就業、家族の同伴など）有 90% 無 10%

## 質問 2

応募時の質問事項「海外渡航歴」に  
短期の観光旅行、インターン、ボランティアの記入は可能ですか？

## 回答 2

可能

少しでも多くの情報を記入して  
自己アピールをしてください



### 質問 3

応募時の質問事項「職歴」にアルバイトの記入は可能ですか？  
社会人もアルバイトの記入は必要ですか？

### 回答 3

可能

少しでも多くの情報を記入して自己アピールをしてください  
期間は可能な範囲で正確にご記入ください

(補足)

ボランティア経験はその他アピールしたい点にご記入ください。

## 質問 4

応募の日時は選考に影響しますか？

## 回答 4

回答を差し控えます

締め切り直前の応募で誤字脱字が多い方、  
記載内容が少ない方は印象が良くないため、  
しっかりと準備し、**早めの応募**をお奨めします

## 質問 5

英語以外の言語で受験する場合、英語能力は選考に影響しますか？

## 回答 5

影響しません

ただし、**自己アピールのため**応募時は是非試験言語以外の語学力もご記入ください。

## 質問 6

語学試験を受験していない場合、応募入力項目の「外国語のレベル」はどのように記載すればよいですか？

## 回答 6

フリーフォーマットですので、ご自身で工夫が可能です。

## 質問 7

外国語能力以外に  
派遣員に求められるスキルは？

## 回答 7

即戦力として期待されている  
社会人としての一般常識  
ビジネスマナー  
パソコンスキル（ワード、エクセルなど）



## 質問 8

選考において一番重視されるのは語学力ですか？  
TOEIC、語学検定試験の結果は影響しますか？

## 回答 8

派遣員業務を遂行可能な語学力は必須  
仕事の中で通用する語学力が求められる  
協調性、適応力、柔軟性などの適性も重要

## 質問 9

派遣員として  
どのような心構えが必要ですか？

## 回答 9

日本外交の最前線であり  
日本の顔となる在外公館の一員として  
責任と誇りを持って赴任してください。



## 質問 1 0

活躍している派遣員の共通点は？

## 回答 1 0

積極性、知的好奇心旺盛な人物

協調性、適応力、柔軟性を備えた人物

謙虚さを兼ね備えた人物



## 質問 1 1

赴任前に外国語以外で勉強をすると役に立つ知識はありますか？

## 回答 1 1

日本に関する基礎知識  
(政治、経済、歴史、文化など)

着任後は、任地に関して学び、情報を収集し、活躍してください

## 質問 1 2

一次試験をオンライン方式で実施する予定はありますか？

## 回答 1 2

予定なし

東京、大阪の2会場で実施

## 質問 1 3

一次試験会場にスーツケースの持ち込みはできますか？

## 回答 1 3

可能

## 質問 1 4

試験会場に飲み物の持ち込みはできますか？

## 回答 1 4

可能

ただし、水分補給は休憩時間のみ、試験時間中は不可



## 質問 1 5

第一次試験当日は、どのような服装がよいですか？

## 回答 1 5

普段着で構いません。

感染症等の対応のため換気をしますので、着席位置等により室温に差が生じる場合もあります。

室温の高低に対応できるよう調整し易い服装でお越しくください。

### 質問 1 6

希望公館はいくつまで選べますか？

### 回答 1 6

最大 5 公館

但し、試験言語によっては複数選択できないことがあります。

### 質問 1 7

赴任を希望しない国・地域を書いた場合、選考で不利になりますか？

### 回答 1 7

不利になりません。選考の参考とします。

派遣員試験は、受験者の適性と在外公館の求める人材とのマッチングです。

ご自身が希望していない公館に合格することもあり得ますので、希望しない国・地域がある場合は、ご記入ください。

## 質問 1 8

アレルギー体質のため赴任できない地域がある場合はどのように記載すればよいですか？

## 回答 1 8

エントリーシート「希望しない国又は地域」欄に記載してください。

受験者ご自身が希望していない公館に合格することもあり得ます。任地ごとに生活環境や医療事情が異なることから健康に関して協会に伝えたいことがある場合は、「希望しない国又は地域」欄にご記入ください。  
選考の参考とします。

### 質問 1 9

不合格の場合、次回以降の試験を受けることは可能ですか？

### 回答 1 9

可能。受験回数の制限なし。

### 質問 2 0

前回一次試験に合格の場合、次回は一次試験を免除されますか？

### 回答 2 0

免除はなし

前回の試験結果を踏まえての評価はしていません。

### 質問 2 1

派遣員経験者が再度受験することは可能ですか？

### 回答 2 1

可能

## 質問 2 2

大学/大学院の専攻、職歴は選考に影響しますか？

## 回答 2 2

影響しません。

## 質問 2 3

辞退は可能ですか？

辞退をすると次回以降の選考に不利になりますか？

## 回答 2 3

可能。

事前に申しましたが、選考方法については回答は控えます。

## 質問 2 4

専門調査員との併願は可能ですか？  
注意事項はありますか？

## 回答 2 4

可能  
注意事項は特になし

## 質問 2 5

任期満了後、専門調査員の受験は可能ですか？

## 回答 2 5

可能  
採用されて活躍している派遣員OBOGが大勢います  
\*応募資格を満たしていることが条件



## 質問 2 6

報酬は日本円で支給されますか？

## 回答 2 6

報酬の一部は外貨建て（米国ドル、ユーロなど）支給が可能

## 質問 2 7

報酬は国内口座に支給されるのか？

## 回答 2 7

選択が可能

国内または海外の口座のいずれか1つの口座に送金

国内送金の場合は日本円、

海外送金の場合はUSD, EURなど外国通貨

## 質問 2 8

急激な円安が進んだ場合、特別な手当の支給はありますか？

## 回答 2 8

手当はなし

ただし、報酬額の見直しをする

ことがあり得る

報酬の一部を外貨建て支給で対応

## 質問 2 9

物価が高い地域において月額報酬で生活が賄えますか？

## 回答 2 9

物価等を考慮した任地ごとに定められた報酬を支給  
別途住居手当、年末手当（12月）を支給



**質問 30**  
住居手当は？

**回答 30**

在外公館ごとに外務省が支給限度額を規定  
規定に従い、派遣員に直接支給  
支給額の範囲でセキュリティが確保できる住居の契約が可能

家具代、光熱水料などは派遣員の自己負担  
住居手当（限度額）は二次試験の際に提示



### 質問 3 1

住居手配（契約）はどのように行うのか？

### 回答 3 1

着任直後は

前任者が手配するホテルに一時滞在が多い

ホテルに滞在中に住居探し

住居探しは、前任者・現地職員の手伝いあり

前任者から住居を引き継ぐケースも多い

安全面などの考慮が必要

外務省の規定に従い、在外公館の担当官の承認後に派遣員が家主と契約



### 質問 3 2

治安の悪い任地での防犯対策は？

### 回答 3 2

安全面の問題がない住居を契約できる報酬、住居手当が支給される

一部の地域は防犯対策手当を別途支給

### 質問 3 3

安全面などを考慮し、女性を配置しない在外公館はありますか？

### 回答 3 3

現在はなし

かつては男性のみ赴任可の公館があった

### 質問 3 4

時間外労働、休日出勤は多いですか？

### 回答 3 4

在外公館により、かなり差がある

大きな行事がある場合、多くなる

例：総理・外務大臣の外国訪問、

G7、G20、APEC、ASEAN会合など

### 質問 3 5

任地で運転する必要がありますか？

### 回答 3 5

任地により異なる、運転が不要な任地が多い  
公共交通機関がない任地では

通勤手段として運転が必要なケースがある  
業務上運転する必要はなし



### 質問 3 6

免許保持者であるが、運転に自信がないため、自動車なしで生活できる任地を希望したいが、可能ですか？

### 回答 3 6

可能。

応募エントリーの「希望しない国又は地域」に記載ください。

### 質問 3 7

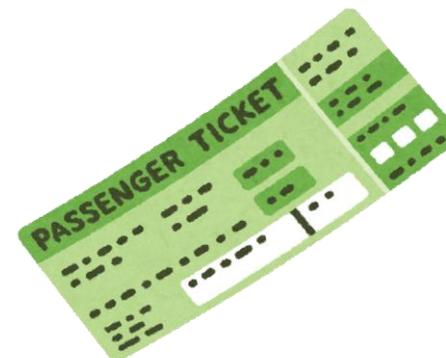
任期中に一時帰国の渡航費用の支給はありますか？

### 回答 3 7

健康管理休暇制度

一時帰国の航空賃支給の補助制度

一部の地域が対象（主に途上国）



### 質問 3 8

任地で医療機関を受診する場合の費用はどうなりますか？

### 回答 3 8

自己負担

海外旅行保険の加入を推奨

協会指定の海外旅行保険プランに加入した場合は、  
基本保険料の一部を協会が補助。

既往症の場合は海外治療費として協会で加入手続きをした  
健康保険へ請求

### 質問 3 9

今回募集の派遣員の赴任時期は来年3月とあるが、日程が確定するのはいつですか？

### 回答 3 9

合格者確定後、在外公館と調整し赴任日程が決まる目安は赴任前オリエンテーションの1週間前

### 質問 4 0

雇用は1年契約、更新は1回とあるが、契約更新する派遣員の割合は？

### 回答 4 0

派遣員の任期は原則2年  
契約更新する割合は9割以上

## 質問 4 1

任期延長はありますか？

## 回答 4 1

派遣員の都合による延長は不可  
在外公館の都合による延長はあり

## 質問 4 2

任期短縮はありますか？

## 回答 4 2

派遣員の都合による場合は、自己都合退職扱い  
緊急退避が発動された場合はあり得る

### 質問 4 3

派遣員合格後、いつ派遣員として契約をするか？

### 回答 4 3

赴任（出発）の前日に協会と雇用契約を締結

### 質問 4 4

社会人で、休業制度を利用して派遣員として赴任はできますか？

### 回答 4 4

可能

**副業、兼業は禁止**

協会と雇用契約を締結する前日までに**休業手続き**を完了させてください

## 質問 4 5

家族の同伴はできますか？

## 回答 4 5

要件を満たせば、配偶者とお子さんの呼び寄せ可。同伴は原則不可。  
着任後6ヶ月以内であれば、航空賃を支給。

但し、任地の治安情勢等によっては、呼び寄せができないこともありえる。

## 質問 4 6

家族に対する手当はありますか？

## 回答 4 6

要件を満たせば、配偶者手当を支給  
配偶者の現地での就労は不可  
お子さんに対する手当はなし

## 質問 4 7

前任者との業務の引継ぎは？

## 回答 4 7

(出発前)

前任者とメール等で連絡を取りあい、  
生活立ち上げの準備、業務引継ぎなどを行う

(任地にて)

数日程度の対面での引継ぎ期間あり



## 質問 4 8

前任者との業務の引継ぎ短く、  
不安である

## 回答 4 8

赴任前オリエンテーション（研修）があり  
任地の上司、現地職員に指示を仰ぐことが可



## 質問 4 9

赴任前オリエンテーションとは？

## 回答 4 9

新人研修に該当

開催時期等：

- ・ 前期募集 7月下旬または8月上旬
- ・ 後期募集 1月下旬または2月上旬
- ・ 3～5日間実施
- ・ オンライン、対面方式で実施

内容：

- ・ 赴任前・任期中の事務手続き
- ・ ビジネスマナーをはじめとした社会人スキルの習得
- ・ 業務に関わる知識の習得
- ・ 派遣員OBOGとの懇談

## 質問 5 0

任期満了する派遣員に対する外務省職員採用試験がありますか？

## 回答 5 0

実施されているが、外務省の採用試験のため  
具体的な内容については協会では把握していない

## 質問 5 1

派遣員は就職、転職に有利になりますか？

## 回答 5 1

派遣員次第

任期2年間でどのように過ごすかによる

## 質問 5 2

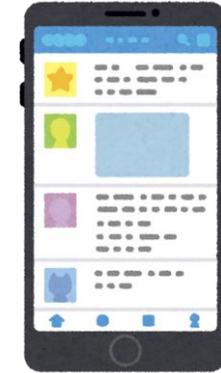
任期中、SNSの使用はできますか？

## 回答 5 2

可能だが、制約がある

業務内容、業務上知り得た情報、

派遣員として品位を落とすような内容などの掲載は不可



### 質問 5 3

他の任地の派遣員同士の繋がりは持っていますか？

### 回答 5 3

赴任前オリエンテーションで同期と一緒に研修を受け、交流が可  
派遣職員(派遣員、技術派遣員、専門調査員)専用の意見交換等でき  
るプラットフォームあり

### 質問 5 4

OBOGのネットワークはありますか？

### 回答 5 4

現時点ではなし

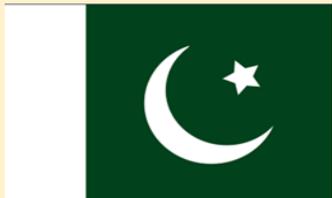
## 質問 5 5

有益な試験対策方法は？

## 回答 5 5

語学力の面で言うと、十分な語学力を身に付ける

派遣員試験は就職試験、大学入学試験ではない  
受験者の適性と在外公館の求める人材とのマッチング  
派遣員として活躍できる人材を採用する試験である



# 派遣員経験者インタビュー



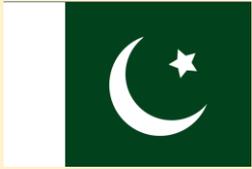
**派遣先：** 在カラチ総領事館（パキスタン）

**派遣期間：** 2015年9月～2018年9月 （注） 当時は任期が3年

**合格時の身分：** 私立大学3年生、休学して派遣員として赴任

**現職：** 公立高校 英語教諭

**志望動機：** 教員志望であったが、大学卒業後にストレートで  
教職に就く前に別の仕事を経験したかった  
特に海外での就労経験を得たかった



## 派遣員経験者インタビュー

任地での業務：

小規模公館ならではの多岐に亘る業務を担当

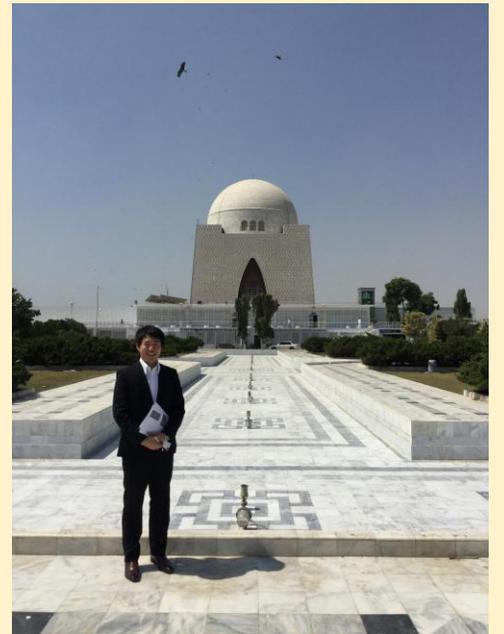
便宜供与

会計・事務処理

総領事館のウェブサイト管理

各種レセプションの補助業務

広報文化業務の補助（日本文化の紹介）





## 派遣員経験者インタビュー

任期中に得たこと：

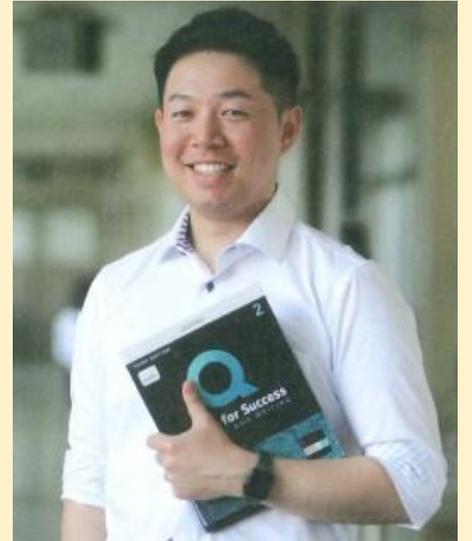
英語力の向上、社会人としての経験は勿論

インフラ事情、生活習慣、宗教が日本とは大きく異なる異文化環境で体調を崩すこともあったが、仕事をする中で、自分の考えを英語で伝える力や、自分がマイノリティーになるという貴重な視点を得ることができた。

総領事館員、在留邦人、現地の方々など多様なキャリアの人たちと接し、視野が広がった。



## 派遣員経験者インタビュー



任期満了後のキャリア：

大学へ復学し、教員免許を取得し、現在公立高校の英語教諭として勤務。

生徒たちには、英語の授業を通して、コミュニケーションの重要性や、英語圏は欧米だけではないこと、ネイティブの英語だけではないことを伝えている。

フルブライト奨学金の給付を受けて、今秋から米国の大学院に進学し、教員養成について学ぶ予定。



## 派遣員経験者インタビュー

受験者へのメッセージ：

パキスタンで出会った多様なキャリアの方々から刺激を受け、赴任前では考えもしませんでした。フルブライト奨学金に挑戦し大学院へ進学する予定です。海外での生活は、戸惑ったり悩んだりすることもあります。自分の可能性やチャンスを見つけるためにも、挑戦して欲しいです。



(お知らせ)  
派遣員新サイト開設

OBOGからのメッセージを掲載  
是非ご覧ください

**アンケートへのご協力をお願いします**  
チャットにアンケートをリンクしております

本日はご清聴ありがとうございました  
皆様のご応募をお待ちしております



**一般社団法人国際交流サービス協会**